

[江別市] 施策達成度報告書

政策 06 市民協働によるまちづくり

施策 03 国内・国際交流の推進

主管課：秘書課

施策の目的

友好都市などとの交流により、国内の郷土や歴史の違いの相互理解を進めるとともに、姉妹都市や市内在住の外国人などとの交流により、外国との文化、言葉の違いを理解し、誰もが快適に暮らせる地域を目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、市内居住外国人	外国の文化や習慣を理解するとともに、コミュニケーションを図ることができるようにして、外国人とともに快適な生活を送ることができる。
------------	--

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
外国のことを理解し、お互いの歴史や風土を尊重して交流できる市民割合	%	16.9	18.9	-	16.1	19.1	18.2	↗
土佐市やグレシャム市が友好姉妹都市であると知っている市民割合	%	-	83.6	-	73.0	76.2	75.3	↗

施策の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、江別市国際交流推進協議会(江別国際センター)、江別市都市提携委員会との協力のもと、友好都市、姉妹都市との間で小中学生、高校生の相互訪問や在住外国人との交流イベントを実施するなど、異文化交流の推進に取り組んで来たところである。しかしながら、国際情勢の変化や市民の生活スタイル、趣味の多様化などの要因もあり、成果指標において2項目ともほぼ横ばい(微減)という結果になった。

これを踏まえ、次期総合計画では引き続き、小中学生や高校生の相互訪問事業を実施するほか、平成29年、30年に両市との間で提携40周年の節目を迎えることから、市民に向けグレシャム、土佐両市の情報を積極的に発信していくこととする。

さらに国際交流推進協議会等の関係団体の協力を得ながら、施策を推進していく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	25,890	25,638	25,400	27,643	29,054
事業費(千円)	10,040	10,243	10,070	12,253	12,881
人件費(千円)	15,850	15,395	15,330	15,390	16,173

基本事業

01 人材・団体の育成

基本事業の目的

国際感覚を持ち、外国人と良好なコミュニケーションが図れる人材や団体を育成します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、市内通勤通学者

- ①外国人とコミュニケーションを図る力を身につける。
- ②国際交流や国際理解を推進する担い手が増える。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
外国人とコミュニケーションが出来る人の割合	%	10.2	12.1	-	10.3	13.1	11.5	↗
国際交流団体の登録者数	人	317	334	294	296	276	293	370

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、江別市国際交流推進協議会、江別市都市提携委員会、江別市国際交流員等の活動を通じて、外国の言葉や文化を理解する人材の育成に努めてきたが、国際情勢の変化などの影響もあり、成果指標においては2項目ともにほぼ横ばいという結果になった。
これを踏まえ、次期総合計画では引き続き、関係機関等の協力を得ながら、国際理解や語学力、コミュニケーション力を高めるための取り組みを進めるほか、小中学校での英語教育の充実をはかるなど、異文化を肌で体験することができる環境づくりを進めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	3,217	3,195	3,182	5,090	4,535
事業費(千円)	1,972	1,986	1,978	3,807	3,285
人件費(千円)	1,245	1,209	1,204	1,283	1,250

基本事業の目的

言葉や生活習慣の違いによる支障やトラブル、不安を解消し、誰もが安心して暮らせる街にします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

外国人

外国人が安心して住めるようになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
外国語による情報媒体提供件数	件	17	7	16	18	22	24	20
外国人相談によって問題が解決した割合	%	100	100	100	100	100	100	100

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、江別市国際交流員が江別在住外国人からの相談に対処してきた結果、すべての相談、問題の解決に繋がったところである。

次期総合計画では引き続き、外国人からの相談を解決することに努めるほか、関係機関等の協力を得ながら、外国人が安心して住むための環境づくりに努めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	8,578	8,455	8,448	8,438	8,338
事業費(千円)	4,843	4,828	4,836	4,831	4,822
人件費(千円)	3,735	3,627	3,612	3,607	3,516

基本事業の目的

様々な国や人、地域と触れ合い、相互の文化や歴史を理解する人材を育成します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、市内通勤通学者

交流の機会等を通して、多くの市民が多様な文化を理解するようになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
友好都市との交流者数	人	1,752	1,397	1,871	1,822	1,854	2,361	1,800
世界市民の集いなど交流イベントの参加者数	人	813	864	713	813	895	913	880
社会人向け外国語講座の参加者数	人	225	250	239	257	266	258	270

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、友好都市との交流者数において提携35周年相互訪問の実施や小中学校交流事業での受入校が増加した結果、人数を伸ばすこととなった。また、関係機関等の活動を通じて、外国の言葉や文化を理解する場の提供に努めてきた結果、交流イベントの参加者数についても、わずかであるが増加傾向となったところである。

次期総合計画では、江別の特色でもある留学生の交流イベントへの参加を促すなど、各関係機関等と協力のもと、引き続き魅力あるイベントを数多く開催し、異文化交流を肌で体験できる機会を提供していくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	14,095	13,988	13,770	14,115	16,181
事業費(千円)	3,225	3,429	3,256	3,615	4,774
人件費(千円)	10,870	10,559	10,514	10,500	11,407